

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分
 【発行日】平成 28 年 4 月 14 日 (2016.4.14)

【公開番号】特開 2015-76581 (P2015-76581A)
 【公開日】平成 27 年 4 月 20 日 (2015.4.20)
 【年通号数】公開・登録公報 2015-026
 【出願番号】特願 2013-213778 (P2013-213778)
 【国際特許分類】

H 0 1 S 5/042 (2006.01)

【 F I 】

H 0 1 S 5/042 6 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 2 月 24 日 (2016.2.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 0 】

光送信回路 2 2 は、入力バッファ回路 4 1 および L D D (Laser Diode Driver : レーザダイオード駆動回路) 4 2 を有して構成され、信号処理回路 2 1 から供給される差動電圧信号を電流信号に変換して、その変換した信号を光通信用光源 2 3 に供給する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 5 3 】

このように、L D D 4 2 は、上述したような多くの電流が発生することを回避し、平均消費電流 I b 分の電流だけを消費することができるよう構成されている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 9 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 9 5 】

光送信回路 2 1 3 は、N 個の送信機 2 2 1 - 1 乃至 2 2 1 - N を備えており、送信機 2 2 1 - 1 乃至 2 2 1 - N に光通信用光源 2 2 2 - 1 乃至 2 2 2 - N がそれぞれ接続されている。送信機 2 2 1 - 1 乃至 2 2 1 - N は、入力バッファ回路 4 1 および L D D 4 2 をそれぞれ備えており、信号処理部 2 1 2 から供給される差動電圧信号に従って、光通信用光源 2 2 2 - 1 乃至 2 2 2 - N に電流信号を並列的に供給する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 9 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 9 6 】

このように構成される光送信装置 2 1 1 において、低消費電力で、並列的に光送信する

ことができる。なお、図 19 の光送信回路 213 は、送信機 221 - 1 乃至 221 - N および光通信用光源 222 - 1 乃至 222 - N を備えて構成されているが、例えば、光送信回路 213 としては、送信機 221 - 1 乃至 221 - N だけを備える構成とし、光送信回路 213 に対して光通信用光源 222 - 1 乃至 222 - N が接続されるようにしてもよい。また、光送信回路 213 が、信号処理部 212 および送信機 221 - 1 乃至 221 - N を備える構成としてもよい。また、光送信回路 213 が、信号処理部 212、送信機 221 - 1 乃至 221 - N、および光通信用光源 222 - 1 乃至 222 - N を備える構成としてもよい。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0110

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0110】

信号強度測定部 331 は、受光素子 314 からトランスインピーダンスアンプ 332 に供給されるシングルエンドの電流信号の強度を測定する。